

# ハイブリッド開催に挑戦!!

# Internet Week 2022

## インターネットの羅針盤～針路を未来に取れ～

「Internet Week 2022」を2022年11月21日(月)から30日(水)にかけて、実施しました。オンラインWeekが4日間、そしてその後に東京大学・伊藤謝恩ホールでのハイブリッドWeek3日間の、計7日間、合計63時間にもおよびました。この特集ではInternet Week 2022について、概要や見どころなどを振り返ります。

### 提供プログラム数と時間について

過去2年間のInternet Weekは感染症禍の影響で、フルオンラインでお届けしていました。しかしIW2022では、会期スタートからカンファレンスプログラムを4日間実施し、その後の3日をハイブリッドでお届けする全力疾走でした。終わってから冷静に振り返れば、少し無謀だったかもしれません……。

提供プログラムは計40プログラム(ハンズオンプログラム 1、通常プログラム 30、ランチセミナー 5、BoF 4)で、計63時間でした。これはIW2021と比較すると、数字上ほぼ同数ですが、オンラインonly開催とハイブリッド開催では、準備すべきこと・考慮すべきことが桁違いでした。

しかし、COVID-19への向き合い方が変わり、そして社会のリズムも日々変わる中でのInternet Weekのあるべき姿を試したい、昨年を超えるものを提供したい!!という考えは、実行委員やプログラム委員に共通しており、こうした建て付けと会期に落ち着きました。なんとか無事終了し、このように開催報告をお届けできることを嬉しく思います!

### 提供プログラムについて

実際どのようなプログラムをお届けしたのかと申しますと、プログラム委員会 (<https://www.nic.ad.jp/iw2022/team/>) で作ったプログラムは、次の31です。便宜的に次の七つのジャンルに分け、またタイトルのみのご紹介になりますが、タイトルからトレンドを感じていただければ幸いです。

#### ネットワーク運用管理

<https://www.nic.ad.jp/iw2022/program/category/#network>

- ・独法でダークファイバを使ってみた話
- ・5Gモバイルネットワーク入門
- ・Wi-Fi航海図 ～みえない電波を理解する～
- ・ルーティングセキュリティ - インターネット運用の羅針盤 -
- ・Peering入門

#### IPv6

<https://www.nic.ad.jp/iw2022/program/category/#ipv6>

- ・コンテンツプロバイダがIPv6対応するための7ステップ
- ・QoEからみたIPv6 ～CDNおよびストリーミング事業者が語る～
- ・AWSクラウドによるIPv6対応Webサイト構築ハンズオン

#### 運用組織

<https://www.nic.ad.jp/iw2022/program/category/#use>

- ・取捨選択できる運用組織

#### 基盤サービス

<https://www.nic.ad.jp/iw2022/program/category/#base>

- ・DNS DAY

#### インターネットと社会(社会派)

<https://www.nic.ad.jp/iw2022/program/category/#social>

- ・スプリンターネットを読み解く
- ・サイバー攻撃を止めるには? 攻撃の動向&abuse対応依頼入門
- ・激情の劇場 プラットフォームを信じていいですか?@スナックまさこ2.0
- ・サステナブルなインターネットのための情報的健康のすすめ

#### セキュリティ

<https://www.nic.ad.jp/iw2022/program/category/#security>

- ・セキュリティの仕事、どんなことをしているの?どうしたらなれるの?
- ・サイバー攻撃2022
- ・サイバー攻撃情報連携の羅針盤
- ・サイバー攻撃を止めるには? 攻撃の動向&abuse対応依頼入門
- ・PSIRTとSBOMの重要性について
- ・NOTICEとかIoTセキュリティとか
- ・Threat Intelligence の活用によるセキュリティ対策の効率化と高度化
- ・ゼロからはじめるOSINT(Open Source Intelligence)
- ・Cyber Hygiene Hunting:セキュリティ実効性確認のすすめ
- ・セキュア開発との向き合い方 ～実践して初めてわかる要所と課題感～
- ・これからのセキュリティ組織の道標
- ・情報処理安全確保支援士が活躍する社会をめざして

#### 新テーマ/IP Meeting

<https://www.nic.ad.jp/iw2022/program/category/#new>

- ・みんな集まれ! インターネットに関わる国際標準化のついで
- ・初のハイブリッド開催も支える! Internet Week 2022配信お悩み相談室
- ・インターネット広告の羅針盤 - ポストクッキー、嵐の時代
- ・Web3の羅針盤
- ・IP Meeting 2022 ～インターネットの羅針盤 - 針路を未来に取れ～

### 参加者数について

参加状況については、延べ人数で、オンラインWeekの参加が3,136、ハイブリッドWeekの参加が2,482で、合計5,618でした。平均すると1プログラムあたり、オンラインWeekで150超、ハイブリッドWeekでは170超の方に見ていただいた計算になります。会期が長いので、安定した参加が見込めるか不安な部分もありましたが、その点は昨年に引き続き、無用な心配でした。

一方で、オンラインWeekとハイブリッドWeekの平均参加者数に大き

# 開 催 報 告

## Internet Week 2022



インターネットの羅針盤  
～針路を未来に取れ～

2022年  
11月21日(月)～30日(水)  
オンラインWEEK：21,22,24,25日  
ハイブリッドWEEK：28～30日

な差がないことからわかる通り、ハイブリッドWeekの来場率は20%強にとどまりました。IW2022の会期が、ちょうど全国的なCOVID-19の感染者数が増加した局面とも重なり、その影響をどう考慮するかは悩ましいですが、普及啓発がメインの目的であるInternet Weekにおける「会場ならではの価値」を、関係者と引き続き考えていきます。



会場となった東京大学伊藤藤恩ホール

### テーマ「インターネットの羅針盤 ～針路を未来に取れ～」について

インターネットの広がりや役割の変化の中で、「Internet Week」のあり方については、長く続いているイベントだからこそその議論が毎回あります。世代ごとの興味が異なり、関心事も生活環境も価値観も多様化しています。限られた会期の中で、どういうバランスで何を届けて誰に見ていただきたいのかは、Internet Weekというイベントをやり続ける限り、逃れられない課題です。

インターネットを仕事にする方々に「普遍的に知ってもらいたい」「総覧してもらいたい」「知りたいと思っていなかったことを届け、今後の羅針盤でありたい」、それがどの世代の関係者にも一致する考えでした。Internet Week 2022に限らず、Internet Weekとしてこうありたいとの願いを込めて、今回のテーマ「インターネットの羅針盤 ～針路を未来に取れ～」が設定された経緯があります。テーマに込めた考えは、実行委員長の挨拶もぜひご覧ください(<https://www.nic.ad.jp/iw2022/greeting/>)。

### IW2022の見どころ

さて、「IW2022の見どころ」です。テーマ「インターネットの羅針盤」に沿うべく、セッションの構想には時間をかけました。今まで取り扱っていなかったテーマも取り入れ、体現しようとしたのが「新テーマ・IP Meeting」や「社会派」のセッションです。次に特に印象深かったプログラムのキーワードを紹介します。

#### ・スプリンターネットを読み解く

ロシアのウクライナ侵攻とそれに伴うウクライナ政府による「ロシアのインターネット封鎖要請」を受けて、2022年は「一つのインターネット」のコンセプトに反するインターネットの分断「スプリンターネット」が大きな議論になりました。各国政府含め、いろいろな見方や論点を整理し、スプリンターネットの実像に迫りました。

#### ・サイバー攻撃を止めるには？

##### 攻撃の動向&abuse対応依頼入門

インターネットの資源を管理している組織では、「abuse窓口」設置がRFC2142で定められています。フィッシング攻撃を切り口に、ネット上の誹謗・中傷・デマ、インターネット詐欺等々abuseとは何か、abuse窓口には何が依頼でき、窓口の中ではどう対応しているのか、停止をスムーズに進めるための意識の持ち方などお話ししました。

#### ・激情の劇場 プラットフォームを信じていいですか？

##### @スナックまさこ2.0

誹謗中傷やフェイクニュース、海賊版、破産者マップ、アテンションエコノミーから、GAFAとの決別をめざすWEB3まで。クールな論客たちが熱く語り合いました。

【第1部】インターネット空間は信頼できるか

【第2部】電気通信事業法改正で見たこと

【第3部】Trusted Web/WEB3って信じていいですか？

#### ・サステナブルなインターネットのための情報的健康のすゝめ

著書「デジタル空間とどう向き合うか～情報的健康の実現をめざして」を出版し、「情報的健康」という概念を提唱された鳥海不二夫先生、山本龍彦先生を迎え、フェイクやアテンション渦巻くデジタル空間において「健康」でいるための処方箋を考えました。

#### ・みんな集まれ！インターネットに関わる国際標準化のついで

標準化、特に国際標準化と言うと「自分には縁遠い話」ととらえるエンジニアも少なくありません。世界で議論され策定されていく技術や制度の動向を、十分なカバー範囲と即時性を持って把握し、事業活動に役立てるため、次の3部構成をお届けしました。

【第1部】チュートリアル - 標準化って何なのか？日本の取り組み -

【第2部】パネルディスカッション

- 使われる技術や制度に携わる魅力と国内での捉え方 -

【第3部】2023年3月 IETF I16横浜に参加しよう！

#### ・インターネット広告の羅針盤 - ポストクッキー、嵐の時代

インターネット広告は今ではエコシステムとして非常に重要なインフラです。今日までのインターネット広告の歩みと仕組みを振り返り、Post Cookieでは何がどう変化するのか技術視点で解説



IP Meetingの第2部「IGF2023を睨み、情報社会のいろんなことを語ろう」の様子

し、その後、広告のエコシステムにおいて関係者の利害関係がどのように入り組んでいるのか、プラットフォームがエコシステムの上でどう動いているのか、その際にプライバシーの保護の必要性がどう認知されどんな動き(法的動き含め)があるのか解説されました。

#### ・Web3の羅針盤

Web3というキーワードが世間でバズワードとなっています。Web3については実にさまざまな議論がされていますが、2022年時点での技術的、社会的な状況について、「羅針盤」となるべく、専門家に整理して、体系的に解説いただきました。

また、「IP Meeting 2022」は、全体を4部構成として、社会とインターネットをつなぐインターネットガバナンスの話題や、2030年に向けた環境目標といった話題も取り入れました。

#### ・IP Meeting 2022 ～インターネットの羅針盤 - 針路を未来に取れ～ (<https://www.nic.ad.jp/iw2022/program/c73/>)

- 第1部 インターネット運用動向2022
- 第2部 IGF2023を睨み、情報社会のいろんなことを語ろう
- 第3部 2030年目標への羅針盤
- 第4部 2023年に向けて(クロージング)

#### 配信の舞台裏 ～初のハイブリッド配信までの道のり～

コロナ禍になってからこれまで、IWはオンラインで配信してきましたが、今年初のハイブリッド開催ということで、IWの配信を担当する「配信チーム」でも頭を悩ませながら準備を進めてきました。

準備は夏の8月頃からスタートしました。まずはオンラインミーティングでハイブリッド配信に必要な構成を考え、構成が決まったら東大会場の下見や事前のリハーサルも繰り返しました。またそれと並行して、前半にはオンラインWeekの配信もあるため、JPNIC会議室にスタジオも作りながら準備を進め、本番を迎えました。

前半のオンラインWeekは、2年間の配信で培ってきた知見も駆使して大きなトラブルなく配信を終えることができました。しかし、前半が無事に終了したとホッと一息する間はあまりなく、すぐにJPNICのスタジオを解体して機材一式を東大に送り、会場で配信環境を構築しなおして、後半戦のハイブリッドWeekに備えました。

コロナが流行してから初の大きな会場ということもあり、JPNIC会議室の小さいスタジオではできなかった大人数のパネルディスカッションといった大規模なセッションも開催でき、会場の臨場感や雰囲気も配信でお届けできたのは、ハイブリッド開催ならではの良さだったかと思います。

一方で、海外からのリモート登壇で通信状況が悪くなったり、配信機材が急にフリーズしたりなどといった当日のトラブルなども発生しましたが、慣れない会場でバタバタとしながらも配信チームで丸となって対応して、ハイブリッドWeekの配信も途切れることなく無事に乗り切ることができました。ご視聴いただいた皆さま、ありがとうございました。

ハイブリッド配信で得られたノウハウ、基礎知識などは、プログラム「C52 初のハイブリッド開催も支える! Internet Week 2022配信

お悩み相談室(<https://www.nic.ad.jp/iw2022/program/c52/>)でもお伝えしています。講演資料も公開されていますので、ぜひご覧ください。



ハイブリッド開催を支えた配信チーム

#### IW2023に向けて

来年のInternet Week 2023は、2023年11月15日(水)～22日(水)頃を予定しています。ぜひ皆さまのご予定に今からどうぞお組み入れください!

Internet Week 2022に残念ながらご参加いただけなかった方も、講演資料は次のWebサイトで公開しています。また、基礎的な内容のプログラムのオンデマンドのご活用もお願いします!

- ◎ Internet Week 2022プレゼンテーション  
<https://www.nic.ad.jp/ja/materials/iw/2022/proceedings/>
- ◎ Internet Week ベーシックオンデマンド(YouTubeビデオ)  
<https://www.nic.ad.jp/ja/materials/iw/ondemand/>

Internet Week 2022を無事閉幕できたことに感謝し、Internet Week 2023で、また皆さまにお会いできることを楽しみにしております。

#### 開催概要

会期	会期2022年11月21日(月)～30日(水) ※休祝日を除く オンラインWeek : 11月21日(月)、22日(火)、24日(木)、25日(金) ハイブリッドWeek : 11月28日(月)、29日(火)、30日(水)
会場	東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール
URL	<a href="https://www.nic.ad.jp/iw2022/">https://www.nic.ad.jp/iw2022/</a>
主催	一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)
企画協賛	Internet Week 2022プログラム委員会 NTTコミュニケーションズ株式会社 株式会社日本レジストリサービス Asia Pacific Network Information Centre インターネットマルチフィード株式会社 株式会社SRA 株式会社GEAR KDDI株式会社 日本インターネットエクスチェンジ株式会社 VIAVIソリューションズ株式会社
お問い合わせ先	Internet Week 2022 事務局(JPNIC内) E-Mail : <a href="mailto:iw-info@nic.ad.jp">iw-info@nic.ad.jp</a>

(JPNIC インターネット推進部 塩沢啓/根津智子)